

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年 3月30日

【評価実施概要】

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 事業所番号 | 4773600061 |
| 法人名 | 医療法人 フェニックス |
| 事業所名 | グループホーム オアシス |
| 所在地 | 沖縄県南風原町字新川452-1 (電話)098-889-6628 |

| | |
|-------|--------------------|
| 評価機関名 | 沖縄県社会福祉協議会 |
| 所在地 | 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1 |
| 訪問調査日 | 平成 21 年 3 月 17日(火) |

【情報提供票より】(平成21年 1月 20日事業所記入)

(1)組織概要

| | | | |
|-------|------------------|-----------------------|-------|
| 開設年月日 | 平成 13 年 11 月 1 日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 8 人 | 常勤 7 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 | 7.6 人 |

(2)建物概要

| | | |
|------|----------|-----------|
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート | 造り |
| | 4 階建ての | 階 ~ 3 階部分 |

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|---------------------------------|----------------|----------|
| 家賃(平均月額) | 40,000 円 | その他の経費(月額) | 日額 300 円 |
| 敷金 | 70,000円(退所時利用料精算の上、返金、退所手続きとする) | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有() ⑧(無) | 有りの場合 償却の有無 | 有/無 |
| 食材料費 | 朝食 | 200 円 | 昼食 350 円 |
| | 夕食 | 350 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり 円 | | |

(4)利用者の概要(12月 31日現在)

| | | | |
|-------|-----------|---------|---------|
| 利用者人数 | 7 名 | 男性 1 名 | 女性 6 名 |
| 要介護1 | 1 名 | 要介護2 | 5 名 |
| 要介護3 | 1 名 | 要介護4 | 0 名 |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 0 名 |
| 年齢 | 平均 85.2 歳 | 最低 80 歳 | 最高 94 歳 |

(5)協力医療機関

| | |
|---------|------|
| 協力医療機関名 | 博愛病院 |
|---------|------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは法人施設内の病棟を改築しているが、木目を多く取り入れ居室もゆったり広く、家庭的な雰囲気を作り出している。病院敷地内に位置し、認知症の専門医もいるため、入居者の精神的、身体的管理や安全管理、職員教育、その他多くの面で母体施設との連携、バックアップ体制が図られている。また、病院敷地内に併設されたホームではあるが、法人全体の取り組みで地域との連携に努めてきた為、地域自治会や地域住民との交流も多く地域交流が良好に図られている。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 前回評価での改善すべき点について職員で話し合いを行い、継続的に取り組んでいる。理念の共有や地域との交流、その他課題に対してグループホーム職員のみでなく、法人全体として改善に取り組む姿勢が感じられる。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 全職員で自己評価することで、一連の過程について具体的・計画的に、また継続的に話し合うことで、いくつかの見直し・改善策を実施してきた。また、外部評価にも積極的に臨み、サービスの質の確保に取り組んでいる。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 事業所の運営推進を支えるために、委員には利用者を始め、多彩なメンバーからなり、隔月でサービスの取り組み・報告・意見等を討議し、サービス向上に取り組んでいる。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 面会時には、健康状態や活動状況を報告し、気軽に意見や苦情などが話せるよう声掛けをしている。また、担当者会議時や運営推進会議等においても意見を聴きとり、職員ミーティングで意向に沿えるよう話し合いを行なっている。 |
| 重点項目⑤ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 法人設立当初より、地域自治会の集会場所や祭りなどで施設が利用され、地域の拠点となっている。また、近隣にある「ふれあいの杜」での地域交流もあり、地域自治会や地域住民との、相互交流が良好になされている。 |

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|--|------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 法人母体組織の理念として「共生」「信頼」「永続」を掲げ、これまで実践してきた。住み慣れた地域で安心した暮らしを支えるため、より柔軟な表現によるホーム独自の理念の表現を模索している。 | ○ | 法人母体組織の理念に包括されてはいるが、地域密着型サービスとしてのホーム独自の理念を法人理念を踏まえて構築するよう期待したい。 |
| | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 管理者と職員は、現在掲げている理念を分かり易い図表にしてホーム内に掲示し、毎日の介護サービス実践に生かすべく、取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 法人設立当初より、当法人施設が地域自治会の公民館代わりとして利用されていたこともあり、自治会活動や地域住民との交流が相互になされている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 全職員で自己評価することで、一連の過程について具体的・計画的に、また継続的に話し合うことで、いくつかの見直し・改善策を実施している。また、外部評価にも積極的に臨み、サービスの質の確保に取り組んでいる。 | | |
| | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 事業所の運営推進を支える会として、利用者を始め、多彩なメンバーから構成され、隔月でサービスの取り組み・報告・意見等を討議し、サービス向上に取り組んでいる。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|--|------|--|
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 地域密着型サービスは、市町村の理解・支援などが必要なことが多いが、運営推進会議には町職員担当者も参加し、情報交換が気楽に行えている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | ホーム内には利用者の写真や作品などを掲示し、家族へ情報を提供している。また、面会時には健康状態や活動状況を積極的に報告し、隔月発行の「オアシスだより」に、利用者の写真とともに各種行事・お知らせなどを掲載している。 | | 隔月発行の便りは利用者と家族の大切なつながりなので、編集方法の工夫等で毎月発行を期待したい。 |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 苦情・意見箱も設置している。面会時には、気軽に意見や苦情などが話せるよう声掛けしている。また、担当者会議時や運営推進会議等においても意見を聴きとり、職員ミーティングで意向に沿えるよう話し合いを行なっている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 法人組織として人事異動は避けられない部分もあり、人事異動の必要がある時は十分な引継ぎ期間を取り、利用者にはダメージを与えないように配慮を行なっている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 法人の年間計画には各種研修が盛り込まれており、職員は積極的に参加して取り組んでいる。また、必要な外部研修についても、その都度参加できるよう配慮しており、法人としての人材育成の支援が行われている。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 管理者会議やグループホーム連絡会等を通して、同業者との連携が図られている。他事業所の訪問・見学等により、食事・その他サービスについての改善にも取り組むことができた。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|--|------|---|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入所前のホーム見学・体験利用で安心、納得してもらった上でのサービス利用を行なっている。入居することでの環境的変化による混乱を避けるため家族の面会を増やしてもらい、早く慣れてもらうように支援している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員は常に利用者と同じ目線で共同生活を行う一員として支え合い、沖縄の神事や料理方法を教えてもらったり、会話を楽しんでいる。また、入居者の中には英語を得意とする利用者もおり、その取り組みを試行している。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者の思いや意向を表出できるよう話しに耳を傾け、気持ちを汲み取るようにしている。訴えることの出る利用者もいるが、表出の困難な利用者については、家族や入居前のアセスメントをもとに支援している。 | | 言語的表現の困難な利用者も多くいることから、利用者の行動や仕草、家族の情報など多面的な面から利用者の本音や意向、感情などを聞きだせるよう今後も更なる努力を期待したい。 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 各担当者と計画作成担当者は本人や家族、関係者と話し合いながら、本人や家族の求めているニーズに即したケアプランを作成するよう努めている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画の期間終了時や、本人の状態変化に応じた計画の見直しを行い、担当者をはじめ、家族の意向も聞き取りながら、利用者本位の計画を作成するようにしている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|--|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 利用者や家族の意向に支援が必要となれば、関係者で話し合い、医療との連携や法人内デイサービスなどを活用して対応できるように体制を整えている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 定期受診の日程管理を行うとともに、受診時には日常あるいは特定の情報を、受診時提供票としてかかりつけ医へ提供し、適切な医療が受けられるように支援している。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 医療連携体制加算も実施しており、重度化した場合やターミナルケアについての指針も策定されている。医師、看護師、介護士など関係者でその対応の話し合いを行なっている。 | ○ | 今後に備え、終末期に向けた対応マニュアルの整備及び入居者・家族と個別的な看取りについての対応方針を検討することを期待したい。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 入居者一人一人の人格を尊重し、不快感を感じさせないような言葉かけ、態度・表情には十分気をつけている。また、個人情報の記録などの取扱いなどにも十分気をつけている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | それぞれに、好きな音楽やテレビを楽しんでいる。書道や手工芸などを楽しむ時もあり、年末には年賀はがきを書く人もいた。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事づくりは職員と利用者が協力して作っている。役割分担で、食材準備、調理やかたづけ等の出来ることをうまく引き出している。また、食卓と台所の配置を見直し、スムーズに準備や片付け、見守りなど出来るよう工夫した。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 基本的には、週3回火・木・土には入浴を、月・水・金は足浴を行なっているが、希望があれば、いつでも入浴には応じるよう体制は出来ている。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 日頃、何をしがっているか探りながらいろいろな活動を支援している。、熱帯魚の好きな人の餌やり、洗濯物の取り込み・片付け・掃除などそれぞれ出来ることを生かした役割分担で、楽しみ・気晴らしが出来るよう工夫している。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 近くの売店に買い物に行くこともできる。毎週定期的に大型スーパーへ食材等の買い出しに出かけたり、希望があればいつでもドライブや外出が行なえる体制が出来ており、日常的に外出が行なえている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | ホームは2階部分になっているが、日中は施錠せず自由に入りができる様玄関にセンサーが設置され、ホームへの出入りは職員が確認できるよう工夫している。職員は常に入居者の居場所を把握し、見守りを行なっている。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 法人母体と協働で年2回の避難訓練を行なっている。今年当ホームで夜間を想定した消防訓練を職員全員で実施した。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|---|------|---|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 法人内にある栄養管理委員会で管理栄養士にメニューの栄養バランスの確認を行い、食事摂取量の把握や水分補給の確認など欠かさず行っている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 畳間やリビングのソファ、廊下の長椅子にくつろげる空間などが準備されている。また、家族とゆっくり過ごせるスペースもあり、2台のテレビでそれぞれ好きな番組が見れるよう工夫されている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室はゆとりある広さだが、現在、利用者の個性が感じられる居室作りを検討しており、利用者本人が居心地良く暮らせるように、使い慣れたものや、好みのものを置くことを家族の方に相談している。 | ○ | 利用者本人が居心地良く暮らせるように、使い慣れたものや、好みのものを置くことを家族と検討しながら、個性が感じられる居室の工夫を期待したい。 |